

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本航空電子工業株式会社
 コード番号 6807 URL <http://www.jae.co.jp>
 代表者 (役職名) 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 秋山 保孝
 (氏名) 青木 和彦

TEL 03-3780-2752

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 77,167 | △26.0 | 1,812 | △44.0 | 2,187 | △9.8 | 1,416 | 57.1 |
| 21年3月期第3四半期 | 104,218 | — | 3,235 | — | 2,424 | — | 901 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 15.63 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 9.89 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 99,347 | 56,715 | 57.0 | 624.89 |
| 21年3月期 | 94,254 | 56,409 | 59.8 | 621.53 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 56,642百万円 21年3月期 56,343百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 21年3月期 | — | 6.00 | — | 3.00 | 9.00 |
| 22年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-------|-------|---|-------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 105,000 | △14.6 | 2,800 | — | 2,500 | — | 1,600 | — | 17.65 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご欄下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 92,302,608株 | 21年3月期 | 92,302,608株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 1,659,036株 | 21年3月期 | 1,649,426株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 90,649,410株 | 21年3月期第3四半期 | 91,113,778株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

・ 定性的情報・財務諸表等

1 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における経済環境は、景気の底入れ感を背景に緩やかな回復基調にあるものの、米国金融不安に端を発した世界的規模の景況悪化のなか、企業収益の低迷や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など、依然として厳しい状況が続きました。また、国内の景気は、第3四半期後半には、物価が持続的に下落するデフレ懸念や為替相場の急激な変動など、本格的な景気回復にはしばらく時間がかかるものと思われます。

一方、当社グループの関連するエレクトロニクス市場は、エコカー減税等の個人消費刺激策や金融緩和策が実施されたことから中国等のアジア市場の立上りに牽引され、携帯機器、パソコン、薄型TV、自動車の一部で需要は強含みで推移しました。

このような状況の中で当社グループは、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動を展開し、受注・売上の確保に努めるとともに、内製化の取組み強化によるコストダウンの推進及び前年下期以降実施しております緊急対策の継続による設備投資の抑制、諸経費の削減と効率化を図り業績の向上に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高771億67百万円と前年同期比較では74%と依然厳しい事業環境下にありますが、利益面では営業利益18億12百万円（前年同期比56%）、経常利益21億87百万円（前年同期比90%）、四半期純利益14億16百万円（前年同期比157%）とすることができました。

2 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、棚卸資産の圧縮並びに設備投資の抑制、効率化に努めましたが、主として売上回復に伴う売上債権の増加により、前期末に比べ50億93百万円増加の993億47百万円となりました。

負債の部は、生産増に伴う買入債務の増加や設備投資資金の一部を借入金で賅ったこと等により前期末に比べ47億86百万円増加の426億31百万円となりました。

純資産の部は、配当金の支払い及び為替の円高進行による海外子会社投資等から発生する為替換算調整勘定のマイナス幅の広がりはあったものの四半期純利益の計上により前期末比3億6百万円増加の567億15百万円となりました。なお、自己資本比率は前期末に比べ2.8%減少の57.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上による内部留保の確保により101億60百万円のプラスとすることができました。投資活動によるキャッシュ・フローは、弘前航空電子(株)新工場棟完成や主として新製品生産用設備の取得による支出により97億67百万円のマイナスとなりましたが、差引フリー・キャッシュ・フローは3億93百万円のプラス（前年同四半期は40億62百万円のマイナス）とすることができました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主として設備資金の調達による借入金の増加により6億37百万円のプラスとなりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は150億54百万円となりました。

3 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

4 その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の評価については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価の切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価の切下げを行う方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産及び負債については、前期末に計上した繰延税金資産、負債の回収見込額を前連結会計年度末以降の経営環境や一時差異等の発生状況を勘案した上で計上しております。

③ 税金費用の計算方法

当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結貸借対照表)

前第3四半期末において、区分掲記していた固定負債「繰延税金負債」は、負債純資産合計の100分の10以下のため、当第3四半期末では、固定負債「その他」に含めて表示しております。

なお、当第3四半期末の固定負債「その他」に含めた「繰延税金負債」は10百万円であります。

5 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,054 | 10,140 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,323 | 13,255 |
| 有価証券 | 10 | 4,000 |
| 商品及び製品 | 4,928 | 5,437 |
| 仕掛品 | 2,622 | 2,319 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,418 | 2,497 |
| 未収還付法人税等 | — | 684 |
| 繰延税金資産 | 2,387 | 1,988 |
| その他 | 3,437 | 2,954 |
| 貸倒引当金 | △63 | △45 |
| 流動資産合計 | 48,118 | 43,232 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 18,098 | 15,386 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12,671 | 12,034 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 4,104 | 5,152 |
| 土地 | 5,283 | 5,295 |
| 建設仮勘定 | 2,622 | 4,724 |
| 有形固定資産合計 | 42,780 | 42,593 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,773 | 1,783 |
| その他 | 91 | 104 |
| 無形固定資産合計 | 1,865 | 1,887 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 3,912 | 4,063 |
| その他 | 2,805 | 2,613 |
| 貸倒引当金 | △135 | △135 |
| 投資その他の資産合計 | 6,583 | 6,541 |
| 固定資産合計 | 51,228 | 51,022 |
| 資産合計 | 99,347 | 94,254 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 19,770 | 15,295 |
| 短期借入金 | 3,766 | 3,446 |
| 未払法人税等 | 973 | 424 |
| その他 | 5,230 | 6,234 |
| 流動負債合計 | 29,741 | 25,401 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,713 | 3,860 |
| 退職給付引当金 | 5,794 | 6,191 |
| 役員退職慰労引当金 | 280 | 296 |
| 債務保証損失引当金 | 2,089 | 2,089 |
| その他 | 10 | 6 |
| 固定負債合計 | 12,889 | 12,444 |
| 負債合計 | 42,631 | 37,845 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,690 | 10,690 |
| 資本剰余金 | 14,439 | 14,440 |
| 利益剰余金 | 36,258 | 35,385 |
| 自己株式 | △1,199 | △1,194 |
| 株主資本合計 | 60,188 | 59,320 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 206 | 45 |
| 為替換算調整勘定 | △3,752 | △3,023 |
| 評価・換算差額等合計 | △3,546 | △2,977 |
| 新株予約権 | 73 | 65 |
| 純資産合計 | 56,715 | 56,409 |
| 負債純資産合計 | 99,347 | 94,254 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 104,218 | 77,167 |
| 売上原価 | 85,441 | 63,267 |
| 売上総利益 | 18,777 | 13,899 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,542 | 12,086 |
| 営業利益 | 3,235 | 1,812 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 83 | 27 |
| 受取配当金 | 150 | 68 |
| 為替差益 | — | 402 |
| その他 | 182 | 140 |
| 営業外収益合計 | 416 | 639 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 55 | 90 |
| 固定資産除却損 | 73 | 102 |
| 為替差損 | 953 | — |
| その他 | 144 | 71 |
| 営業外費用合計 | 1,227 | 264 |
| 経常利益 | 2,424 | 2,187 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,424 | 2,187 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,460 | 1,016 |
| 法人税等調整額 | 62 | △244 |
| 法人税等合計 | 1,523 | 771 |
| 四半期純利益 | 901 | 1,416 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,424 | 2,187 |
| 減価償却費 | 9,889 | 7,949 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △10 | 17 |
| 取締役賞与引当金の増減額 (△は減少) | △38 | — |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △666 | △393 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 10 | △15 |
| 受取利息及び受取配当金 | △234 | △96 |
| 支払利息 | 55 | 90 |
| 為替差損益 (△は益) | 32 | 3 |
| 固定資産除却損 | 73 | 102 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 6 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 5,384 | △4,325 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △740 | 216 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △6,830 | 4,932 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △200 | 129 |
| その他 | 803 | △342 |
| 小計 | 9,959 | 10,457 |
| 利息及び配当金の受取額 | 232 | 90 |
| 利息の支払額 | △57 | △91 |
| 法人税等の支払額 | △3,410 | △705 |
| 法人税等の還付額 | — | 622 |
| その他の収入 | 938 | — |
| その他の支出 | — | △212 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,662 | 10,160 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期貸付金の増減額 (△は増加) | 1 | 2 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11,204 | △9,501 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 168 | 163 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △11 | △1 |
| 投資有価証券の償還による収入 | 10 | — |
| 長期貸付けによる支出 | △1 | △0 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 56 | 20 |
| その他 | △743 | △449 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △11,724 | △9,767 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 2,098 | △384 |
| 長期借入れによる収入 | — | 2,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,329 | △428 |
| 自己株式の取得による支出 | △648 | △6 |
| 配当金の支払額 | △1,096 | △543 |
| その他 | 29 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △946 | 637 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △615 | △117 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △5,623 | 913 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 19,575 | 14,140 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 13,951 | 15,054 |

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|---------------|--|--|
| 現金及び預金 | 10,151百万円 | 15,054百万円 |
| 有価証券(国内譲渡性預金) | 3,800百万円 | —百万円 |
| 現金及び現金同等物 | 13,951百万円 | 15,054百万円 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び
当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社グループの事業の種類別区分は、電子機器及び部品(電子機器及び電子部品の製造・販売並びにこれらに関連する機器及び部品の仕入販売)とその他(その他の物品の販売並びにサービス)の2セグメントであり、電子機器及び部品の全セグメントの売上高、営業損益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えており、かつ、当該セグメント以外に開示の対象とすべき基準に該当するセグメントがないため、その記載を省略しております。

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|--------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 64,918 | 7,000 | 32,300 | 104,218 | — | 104,218 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 20,280 | 594 | 10,441 | 31,316 | (31,316) | — |
| 計 | 85,198 | 7,594 | 42,741 | 135,534 | (31,316) | 104,218 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 5,169 | △378 | 651 | 5,441 | (2,206) | 3,235 |

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米: 米国 (2) アジア: 台湾・韓国・フィリピン・中国

3 当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の「日本」における営業利益が248百万円減少しております。

4 当連結会計年度より、有形固定資産の耐用年数について、平成20年度法人税法の改正を契機に見直しを行い、一部資産について耐用年数を短縮し減価償却費を算定する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の「日本」における営業利益が388百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | アジア (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|--------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 47,441 | 4,811 | 24,914 | 77,167 | — | 77,167 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 12,906 | 714 | 7,167 | 20,788 | (20,788) | — |
| 計 | 60,347 | 5,525 | 32,082 | 97,955 | (20,788) | 77,167 |
| 営業利益 | 1,864 | 170 | 1,882 | 3,918 | (2,105) | 1,812 |

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米：米国 (2) アジア：台湾・韓国・フィリピン・中国

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

| | 北米 | アジア | その他の地域 | 計 |
|-------------------------------|-------|--------|--------|---------|
| I 海外売上高 (百万円) | 7,298 | 36,060 | 5,495 | 48,854 |
| II 連結売上高 (百万円) | | | | 104,218 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%) | 7.0 | 34.6 | 5.3 | 46.9 |

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

| | 北米 | アジア | その他の地域 | 計 |
|-------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| I 海外売上高 (百万円) | 4,551 | 31,115 | 2,930 | 38,596 |
| II 連結売上高 (百万円) | | | | 77,167 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%) | 5.9 | 40.3 | 3.8 | 50.0 |

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米：米国 (2) アジア：台湾・韓国・フィリピン・シンガポール・中国 (3) その他：英国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6 その他の情報

製品別販売状況 (連結)

| | 前第3四半期 (20.4.1~20.12.31) | | 当第3四半期 (21.4.1~21.12.31) | | 前期 (20.4.1~21.3.31) | |
|-------------------------------|-----------------------------|-------|-----------------------------|------|------------------------|------|
| | 金額 | 前同比 | 金額 | 前同比 | 金額 | 前期比 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| コネクタ及び同関連製品 | 79,454 | 86.8 | 60,703 | 76.4 | 92,389 | 77.0 |
| インターフェース・ソリューション機器 及び同関連製品 | 11,734 | 87.9 | 8,714 | 74.3 | 14,138 | 79.5 |
| 航空・宇宙用電子機器及び同応用製品 | 11,301 | 104.4 | 7,163 | 63.4 | 14,463 | 92.8 |
| その他の製品 | 1,727 | 83.6 | 585 | 33.9 | 2,017 | 70.5 |
| 連結売上高 | 104,218 | 88.5 | 77,167 | 74.0 | 123,009 | 78.8 |